

【予算議案】議第66号平成27年度中津市一般会計補正予算（第1号）

ページ	目	節	説明欄の事業名
10	まちづくり推進費		福祉・買い物センター「かかしの郷」（仮称）整備事業 58,329千円
質問①	事業の内容、目的、場所、用地購入面積、購入単価、購入単価の積算根拠、建物延べ床面積、施設の機能、機能別の床面積、入所団体、総事業費、財源内訳、完成予定年月日		
答弁	<p>○事業の内容は、山国地域の福祉の拠点施設と買い物支援施設が一体となった、福祉・買い物センター「かかしの郷」（仮称）を整備するための用地購入費、建物補償費及び土地造成費です。</p> <p>○事業の目的は、旧山国社会福祉センターにおいて、平成22年に実施した耐震調査の結果、強度不足により利用を廃止したため、それに代わる施設として、高齢者を中心とした福祉の拠点施設を整備するとともに、地域内のスーパーが撤退したことにより不便であった買い物の利便性の向上を目的にした買い物施設を兼ね合わせた複合施設を整備するものです。</p> <p>○場所は、中津市山国町守実 コアやまくに東側の旧工場跡地です。</p> <p>○用地購入面積は3,836㎡、購入単価は平均単価で4,849円/㎡です。</p> <p>○購入単価の積算根拠は、固定資産税評価額を参考にしました。実施にあたっては、不動産鑑定により行います。</p> <p>○建物の延べ床面積は約1,200㎡で、主要な部分といたしまして、買い物スペースとして280㎡、トレーニングルーム66㎡、地域交流カフェコーナー47㎡、その他807㎡はほぼ福祉関係スペースであります。</p> <p>○入所団体といたしましては、買い物部門には一般財団法人コアやまくにを、福祉部門につきましては中津市社会福祉協議会を予定しております。</p> <p>○総事業費は約490,000千円で、財源内訳といたしまして過疎債約441,900千円、一般財源約48,000千円です。</p> <p>○完成予定としましては、平成28年秋頃を予定しております。</p>		
質問②	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予算の社会福祉センター建設事業の用地購入面積（3502㎡→3800㎡）から増加した理由と場所、 ・建物等補償費（14,651→29,920千円）が増額となった理由、 ・建物の基本設計及び実施設計委託料の予算措置がされていない理由、 ・新たな買い物支援センターの運営主体、昨年の買い物テスト店舗の収支は、赤字が出たときの補填、 ・トレーニングルームの機器備品と使用料金、 ・総事業費は備品も含めての金額か、備品等も過疎債の対象となるのか、 ・雇用される人数、入所団体からの賃料、 ・太陽光発電設備の設置は、 		

<p>答弁</p>	<p>○当初予算での社会福祉センター建設事業の用地購入面積から増加した理由は、当初計画では、市道からの車両等乗り入れは2箇所でありましたが、1箇所増やすことにより、通常及び緊急時の利便性を高める目的として、追加買収(334㎡)を行うものです。追加買収場所は、当初予定していた用地に隣接する農地です。</p> <p>○建物等補償費が増額となった理由は、当初では概算にて予算計上しておりましたが、建物補償調査を行った結果、増額となりました。</p> <p>○建物の基本設計及び実施設計委託料につきましては、平成26年度に予算措置を行い、平成27年度繰り越しとなっております。</p> <p>○新たな買い物支援センターの運営主体は「一般財団法人コアやまくに」を予定しております。</p> <p>○昨年の買い物テスト店舗の実績としまして、14日間の総売上げ2,204,391円、運営経費としまして人件費を含め2,982,147円でした。</p> <p>○この施設は、地域の買い物の不便さを解消するための支援施設でありますので、必要な運営経費については今後も市が負担することとなります。</p> <p>○トレーニングルームの備品と使用料金は現時点では、未定であります。今後地元の皆さんの意見も聞き、検討してまいります。</p> <p>○総事業費は備品も含めての金額です。</p> <p>○起債対象となる備品につきましては、「建設事業と一体として整備される備品で、建設される施設等と一体不可分の機能を有するものの購入経費」となります。ただし、原則として1品当りの取得価格が20万円以上であって、かつ、耐用年数が5年以上の備品とされております。</p> <p>○雇用の人数は、買い物部門は3名の予定で、社会福祉協議会については現時点では未定です。</p> <p>○入所団体からの賃料は無償で考えています。</p> <p>○太陽光発電設備については、20kw規模の設備を計画しています。</p>
<p>質問③</p>	<p>・完成後の施設の主管課は、</p> <p>・この事業は、中津市のコンパクトシティ形成のモデル事業として山国地域の地方創生の中核的施設となりうるのか</p>
<p>答弁</p>	<p>○完成後の施設の主管課につきましては、現時点においては未定ですが、今後窓口の一本化を視野に入れ、決定したいと考えています。</p> <p>○建設予定地の山国町守実地区は山国地域の中心に位置し、山国地域内では最も住宅、人口が集中している地域で、病院、歯科医院、コアやまくにがあり、コミュニティバスを利用するなどして、町内各所から高齢者が集う場所があります。建設予定地はコアやまくにに近接した場所にあり、ここに、高齢者を中心とした福祉の拠点施設に加え、買い物支援施設やトレーニングルーム、さらに、利用者が自由に集い、友人知人とお茶を飲みながら人付き合いができる地域交流カフェコーナーを備えており、「コミュニティバス運行」との協働により、山国町内のどの地区に住んでいても、また、車の運転ができなくても、生活に必要なものはほとんど済ませることができる地域の中核的施設になると思っておりますので、小さな拠点形成のモデル事業、山国地域の地方創生の中核的施設になりうるかと考え、事業推進に努めていきたいと考えております。</p>

ページ	目	節	説明欄の事業名
22	道路橋りょう 新設改良事業 費	委託料	道路橋りょう新設改良費 17,280千円
質問①	調査設計委託の内容、調査の範囲、総事業費、財源内訳、橋及び治水対策工事の完成時期、現在の馬溪橋の延長、調査設計する橋の延長は、		
答弁	<p>○まず、ご質問の委託料の補正につきましては、平成24年7月の2回にわたる九州北部豪雨により被災を受けた耶馬溪町城井地区の山国川に架かる馬溪橋について、現在、国土交通省山国川河川事務所が行っている山国川床上浸水対策特別緊急事業の中で、馬溪橋を存置した上で治水対策を行う方針が決定されたことにより、橋梁管理者である中津市が被災を受けた馬溪橋の修復を行うための調査設計委託料でございます。</p> <p>○調査設計委託の内容につきましては、馬溪橋（橋長82.73m）をそのままの形で存置するため、橋の損傷状況調査やコンクリートはつり調査、圧縮強度試験等を行い、修復対策工法を策定します。また、修復後も洪水時において安全であることの安定解析を行います。</p> <p>○総事業費につきましては、補修工法が決定しなければ工事費の算出は出来ません。財源につきましては、合併特例債を充てる予定にしていますが、現在、文化庁の補助金を活用するよう進めています。</p> <p>○今後の日程につきましては、今年度に測量調査設計を行い、来年度に修復工事を行う予定です。</p> <p>○また、馬溪橋存置に伴う国土交通省による山国川治水対策工事につきましては、現在進めています築堤や河道拡幅の為の測量、詳細設計の後、必要な用地取得及び、家屋補償を行い、29年度を目標に工事を完成させると聞いています。</p>		
質問②	河道拡幅に伴う市の負担額は、橋の兩岸の河道拡幅の長さ、拡幅される分の設計、工事費の負担はどこか、		
答弁	○国土交通省が行う河川改修につきましては、平成25年度より実施しております山国川床上浸水対策特別緊急事業の一環で行いますので、事業に伴う中津市の負担はありません。なお、詳しい改修内容につきましては、現在国が測量、詳細設計を進めており、今年の秋頃までに地元へ提示されると聞いています。		
ページ	目	節	説明欄の事業名
24	都市計画総務 費	負担金補助及び交 付金	都市計画総務事業費（都市整備課）
質問①	事業の内容（路線名、区間、延長、工事概要）、事業に至った経過、市の負担割合、事業計画期間		
答弁	<p>○事業の内容（路線名、区間、延長、工事概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず本事業につきましては、現道が県道であるため事業主体となります県に確認した内容をお答えします。 ・この負担金に係る事業の対象となる路線名につきましては、都市計画道路となっており、都市計画道路名は外馬場錆矢堂線で、現道名は県道中津吉富線です。 		

	<p>・今回は県道中津吉富線牛神交差点付近 JR高架下から東側の都市計画決定された道路の区間について、事業化に向けた調査を行うとのことで、この調査において緊急性の高い区間の整理や整備手法等について検討を行っていくとのことです。</p> <p>・工事概要についてですが、現在検討中とのことでありますので、都市計画決定されているものについてお答えします。都市計画決定上では、片側3mの2車線道路、両側に1.5mの路肩（停車帯）と3.5mの歩道を備え、全体幅員がW=16.0mとなっています。</p> <p>○事業に至った経過</p> <p>・現道の幅員は7.0mと狭く、歩道も未整備ですが、交通量は1日あたり約12,000台と多く、沿線には小楠小学校、中津中学校があることから、通勤通学時は歩行者、自転車、自動車が輻輳しており、不便で危険な道路となっています。そのため、県では特に危険な箇所にも局部的な交通安全事業を実施しているとのことです。</p> <p>その様な中、昨年の12月に小楠校区の学校関係者、自治委員の連名により本路線の早期整備を望む要望書が提出され、本年1月に市を通じ、県へ本要望を進達致しました。県はこれを受け、事業化に向けた調査を行うことになりました。</p> <p>○市の負担割合</p> <p>・今回行う調査事業についての負担割合は、事業費の1/4となっております。 （交付金事業化後の交付金負担割合 国:県:市=65:25:10）※今回は県単独事業のため、市負担1/4</p> <p>○事業計画期間</p> <p>・事業計画期間につきましては、調査検討段階であり未定とのことです。 （平成27年度新規事業評価実施、平成28年度事業認可取得）</p>
質問②	<p>計画路線の整備にかかる総事業費と市の負担金総額、緑の基本計画における歩道の植栽計画は、</p>
答弁	<p>○計画路線の整備にかかる総事業費と市の負担金総額</p> <p>・計画路線の整備にかかる総事業費と市の負担金総額についてですが、調査検討段階であり未定とのことです。</p> <p>○緑の基本計画における植栽計画は</p> <p>・この路線は、「中津市緑の基本計画」において幹線道路として整備する路線となっております。本路線の実施主体であります大分県に対しましても本計画を参考にいただき、合わせて交通量や沿線の状況等を適切に判断して事業を進めていただくよう進言したいと考えています。</p>

【予算外議案】

議案番号	件名
議第 73 号	中津市西谷農村公園施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
質問①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族風呂の広さと仕様、料金の積算根拠、 ・ 温泉センター利用料金を値上げする理由（改正前 300 円→現行料金 400 円→改正後料金 410 円）、 ・ 家族風呂は 2000 円に消費税分 160 円が加算されているが、410 円の消費税額は、 ・ 別表第 2 指定管理者の場合の利用料金で、家族風呂は上限設定のみで、その他には上限、下限があるのか。 ・ 温泉センターでは、直営の 410 円に対して 510 円に値上げして取ることが出来るのか、 ・ 温泉センターが 10 時からとなれば宿泊者も 10 時からか、
答弁	<p>○家族風呂の広さと仕様 西谷農村公園ふれあいセンターは現在増改築工事中で、9月1日には家族風呂がリニューアルオープン予定です。 その家族風呂は、1室の広さは、約16㎡で、脱衣室（トイレ含む）が約8㎡、浴室が約8㎡です。同規模の家族風呂を4部屋新設します。家族風呂浴槽の仕様は、タイル貼り浴槽が2つ、石目調タイル浴槽が1つ、陶器風の小判型浴槽が1つの4種類の家族風呂浴槽を楽しんで頂きたいと考えています。</p> <p>○料金の積算根拠 家族風呂料金の積算根拠については、近隣の類似の温泉施設の家族風呂料金を参考に料金設定しました。</p> <p>○温泉センター利用料金を値上げする理由 温泉センター利用料金を値上げするのでは、ありません。今回の改正の理由は、現在、指定管理者が利用料として400円徴収していますので、市が直営とした場合の別表第1の利用金額を実態に合わせるため300円から410円に調整を図りました。</p> <p>○温泉センターの利用料金410円の消費税 温泉センターの利用料金410円は、380円に消費税8%を含んだ金額であります。</p> <p>○別表第2の指定管理者の場合の利用料金 別表第2の指定管理者の場合の利用料金が、家族風呂は上限設定で、その他にも上限、下限を設けております。その範囲内において指定管理者が市長に対し利用料金の承認申請をすることになっています。</p> <p>○温泉センターの値上げ 温泉センターの利用料金も100円から510円の間であれば市長に承認申請を行い、許可が得られれば徴収することができます。理論上は、値上げして取ることが出来ますが、指定管理者には効率的な運営をしていただいておりますので、利用料金大人（満12歳以上）1人400円を510円</p>

	<p>に値上げすることは、現在考えていません。</p> <p>○宿泊者の朝風呂</p> <p>温泉センターは、10時から営業ですが、宿泊者の場合は、朝8時から朝風呂を利用いただけるように便宜を図っています。</p>
質問②	<p>指定管理に出すと高くなるのは理解できない。宿泊者は早朝に風呂に入れないとなると宿泊の魅力がないと考える。そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎの郷やまくにの家族風呂 90分以内 1530円との整合性は、 ・通常の風呂は宿泊者無料となっているが家族風呂も同様か、 ・近隣の家族風呂の料金は、
答弁	<p>○やすらぎの郷やまくにとの整合性</p> <p>西谷温泉の家族風呂の内容とやすらぎの郷やまくにの家族風呂の内容は、違っています。一例として上げれば、やすらぎの郷やまくにの家族風呂は、平成15年5月完成と12年以上経過していることや、施設にも違いがあることから、今回の西谷温泉家族風呂の利用料金の参考としましたが、同じ料金設定にはしませんでした。</p> <p>○宿泊者の家族風呂料金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉センターについて、直営の場合も指定管理の場合の両方ともに、入浴料を含めたところで宿泊料金を設定していますので、宿泊者から入浴料金を徴収していません。 ・家族風呂について、直営の場合は、入浴料を含めたところで宿泊料金を設定していますので、宿泊者から入浴料金を徴収していませんが、指定管理の場合は、宿泊費に入浴料が含まれていませんので、別途家族風呂の利用料金を徴収する予定です。 ・また、宿泊施設に大人3人が宿泊する平日宿泊プランでは、直営で家族風呂を利用した場合より安くなる場合もありますので、今後も割安な宿泊プランがあることを、PRして参ります。 <p>○近隣の家族風呂の料金</p> <p>近隣の家族風呂の料金は、上毛町の湯の迫温泉の内湯 1時間2人で1,800円で大人1人追加料金が900円、露天付で2,200円で大人1人追加料金1,100円となっています。三光八面山の金色温泉の露天風呂で平日1時間2,160円（土日祝日45分で2,160円）となっています。</p>
質問③	<p>金色温泉（2000円）の家族風呂並みの立派な施設か、</p>
答弁	<p>新設する家族風呂は、他の施設との比較は一概にはできませんが、浴槽の種類もバリエーションがあり、内湯タイプで浴槽の種類もタイル張り浴槽が2つ、石目調タイル浴槽が1つ、陶器風の小判型浴槽が1つとなっています（大人が2人と子供1人が入れる浴槽タイプ）。西谷温泉の特徴である「美肌の湯」でお肌のつるっと感を存分に味わって頂きたいと考えています。また、家族風呂は、女性をターゲットに見据えて、化粧水等を置きますので、利用者に、十分満足していただける施設だと自負しております。</p>